

2009(平成 21)年度私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
第 1 回研究会グループ討議 議事録 B グループ

日 時：平成 21 年 6 月 25 日(木) 15：00～16：25

会 場：豊田工業大学

出席者：10 名

参加大学：岐阜聖徳学園大学 (羽島キャンパス)、豊田工業大学、日本福祉大学、名城大学、愛知学院大学、朝日大学、同朋学園大学、大同大学、金城学院大学、中部大学

< 討議テーマ >

「図書館活性化への取り組み、特に利用者増加のための試み」

< 討議内容 >

自館での問題点の報告を交えた自己紹介の後、利用者増加のための各館の取り組みについて、情報交換を行った。以下、各館での取り組みの概要。

【開館日 / 開館時間】

◆ 開館時間の延長

開館時間を延長したところ、歯学部上級生の利用が増えた。

講義開始前に大学に来ている学生の利用を見込んで、朝の開館時間を早めた。

夜間部の講義廃止に伴い、開館時間の見直し（短縮）を検討中。

◆ 休日開館

試験期間前 / 試験期間中の休日開館を実施。昨年度までは、7 月・1 月に各 2 日間ずつ開館。月に 2 日では休日開館の印象が薄いので、今年度は 7 月と 1 月の休日全てを開館。

【資料】

◆ 指定図書 / 講義推薦図書

教員に 1 人 3 冊の指定図書選定を依頼。現状では少数。利用促進のために、配架については、利用者の目に付くところに書架を設置する等、工夫が必要である。

◆ 企画展示

外部講師の著書や関連書を展示。講義と関連付けると効果あり。

◆ 学生希望図書

ガイダンスのアンケートで、感銘を受けた図書を記入してもらう。この本を図書館で購入し提供。学生目線の図書なので、利用が多い。

◆ 学生選書

学生を書店に連れていき、選書ツアーを実施。学生が選んだ資料は利用が多い。

#### 【利用者講習会】

- ◆ 新入生向けオリエンテーション

教員からの依頼で授業時間にガイダンスを実施。

依頼が集中するので、学部別に実施時期を指定している。

- ◆ 講習会の内容

「初級/中級」「ステップ1/ステップ2/ステップ3」など、内容を何パターンか用意している。

- ◆ 学生の意識付け

新入生オリエンテーションの時に「図書館をもっと使いたい!」と思わせる工夫が必要。

#### 【動向分析】

- ◆ 入館者データの分析

入館時に認証が必要な図書館では、入館者の分析が可能。時間別の入館者数は、窓口スタッフの人員配置の参考になる。

学科別の入館者数は、各学科の教員に対して図書館を活用するように働きかける時の具体的な資料となる。

- ◆ 館内利用資料の分析

貸出冊数だけでなく、館内で利用された資料の数値も重要。調査したところ、貸出と同程度の利用があった。

#### 【その他】

- ◆ 職員支援

ビジネス系の図書の企画展示や、図書館主催の研修会などで、職員にも図書館を知ってもらい、活用してもらいたい。

職員が抱えている課題に対して、参考となる文献リストの提示や、就職課の職員に日経テレコンを案内するなど、業務にも図書館資料が活用できることを知ってもらう必要がある。

- ◆ 学生ボランティア

図書館が好きな学生が多数存在する。そのような学生が、図書館の様々な活動に参加できるようにしている。選書/POP作成/資料作成/PR資料作成など、学生目線の取り組みが、他の学生に好評である。

館員には聞きづらいが、学生ボランティアなら気軽に尋ねることができるとの声もあった。

以上